

ネット配信版・新つれづれ草に掲載の「私たちのマンガ史」は、東京都江東区・森下文化センターにて2016年10月21日（金）から30日（日）の会期で開催しました、新つれづれ草マンガ展「私たちのマンガ史」で展示した展示物を再構成したものです。

1970年代初頭、マンガ家になることを夢に見て、その夢に全力で向かっていったマンガ少年たちがいた！

私たちのマンガ史

マンガ家デビュー秘話

手塚治虫の「マンガの描き方」
石森章太郎の「マンガ家入門」
雑誌COMの創刊、サンデー・マガジンの大ヒット
少年ジャンプ創刊、手塚賞・赤塚賞新人賞へ投稿...

マンガ家としてデビューしたのか？
それとも、しなかったのか？
パネル展示と当時の原画、掲載誌、資料等で
今だから語れる、それぞれのマンガ史をご覧ください

入場：無料

イラスト：KINKAN

日時：10月21日（金）～10月30日（日）
午前9時より午後9時まで（最終日は午後5時まで）

会場：森下文化センター1F展示ロビー

お問合せ：森下文化センター

〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17
TEL03-5600-8666 FAX03-5600-8677
都営地下鉄新宿線・大江戸線「森下」駅A6出口より徒歩8分
都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅A2出口より徒歩8分
<http://www.kcf.or.jp/morishita/>

主催・新つれづれ草 共催・森下文化センター



かたおか徹治

■ 私たちのマンガ史



デビュー作
『ミラーマン』

1972年「小学三年生」



もうひとつのデビュー作
『闇夜の牙』（学研『中2
コース』付録）

デビュー作は『ミラーマン』です。小学館の学年誌の編集部にたまたま行ったら、『ミラーマン』を描いていた人が逃げちゃったらしく、描いてみない？ って言われたので、二つ返事で描くことにしました。特撮番組のコミカライズなんて、自分に描けるかな、と思っていたんですけど、内山さんのところでの経験もあったから、なんとかなると思つて。

自分の漫画がゲラ刷りになつたときは嬉しかったですね。そのゲラをじーっと見つめていた記憶があります。両親も買ってくれて、結構喜んでくれました。ようやく一本立ちできたな、という気がありました。

文・新つれづれ草第2号掲載「つれづれインタビューマンガびと」より抜粋加筆

●かたおか徹治・主な作品リスト

- 『新・ウルトラ兄弟物語』（コロコロコミック 1979年1月号〜10月号 小学館）
- 『ウルトラマン80』（コロコロコミック 1980年5月号〜10月号 小学館）
- 『ファミ魂ウルフ』（わんぱくコミック 1985年〜1988年3月号 徳間書店）
- 学習漫画世界の伝記『エジソン』（描き下ろし単行本 1984年〜以下重版 集英社）
- 学習漫画世界の伝記『リンカーン』（描き下ろし単行本 1984年〜以下重版 集英社）
- 『まんが・ビジネスマン入門』（描き下ろし単行本 1988年 TBSブリタニカ）
- 学習漫画日本の伝記 戦乱の世の風雲児 『織田信長』（描き下ろし単行本 1988年〜以下重版 集英社）
- 環境学習マンガ 『エコタイム』（ナチュラルアイ 2011年〜 埼玉県生態系保護協会）

かたおか徹治デビュー秘話

●コミカライズでデビュー『ミラーマン』

「入稿が先」か「作業開始が先」か？ 「発売が

先」の作品をデビュー作というと、私のデビュー作は『ミラーマン』（1972年『小学三年生』8月号）。

しかし自分では『ミラーマン』の前に描いた、発売は後だった『闇夜の牙』（1972年『中2コース』9月号付録）がデビュー作だとギリギリまで思っていた。しかし……。

上京して1年半、アシスタントをしながら持ち込み活動をして初めての依頼原稿が『闇夜の牙』。その下書きを編集部に見せに行った帰り道、名刺を貰っていた小学館の学年誌編集部『小学一年生』のデスクUさんに会いに寄る。

牙



かたおか徹治

Uさんがボクの顔を見るなり手を振り、「いい所に来た、片岡君！」そう言つて、『小二』編集部デスクのYさんを紹介された。何事が起きたのか、キョトンとしたままイスに座らされ、Yさんの話しが始まった。

「あのさ、困つてんだよお。ん、漫画家が女と逃げちゃつてさあ……」と、Yさん。 エエッ？

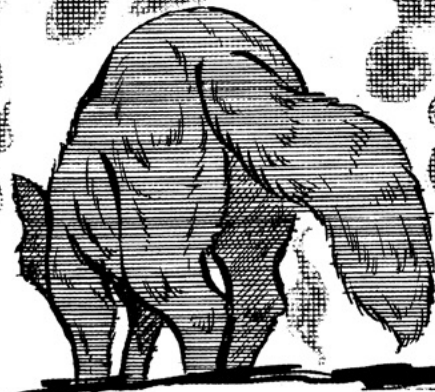
何い？ どつかのドラマで聞いた様なセリフ……。

Yさんは新米編集者のSさんと一緒に、ボクが持っていた描きかけの原稿と、わずかなイラスト見本を見ながら、

「○○日までに、これ上げる自信……ある？」そう言つてボクの顔を覗き込む。ええっ？これって代筆……!? 小学館でえ……!?

思わず耳を疑つてしまったが、確かにYさんはそう言つた。

闇夜の



その時ボクの周りには、Uさんとボクがアシスタントをしていたイラストレーターの山屋魔秀美さんも加わり、さしずめ4人の巨人に囲まれた小さなネズミ状態で、身が縮こまる思いだった。

持っていた学研の原稿は、9月号の読み切付録とは言え32頁で、メ切までひと月も無い。この仕事も、何と同じ締め切り！ ええっ？ そんなん出来んのお……？ 無茶やでえ！

結局、一緒に上京したKinKan氏に無理を言って手伝って貰い、何とか仕上げる事が出来た。
(感謝！)

それが当時円谷プロ制作のテレビ特撮ヒーロードラマ『ミラーマン』。ボクはこの作品と出会い、その先数年間、特撮ヒーロードラマのコミカライズを手がける事になる。そしてそれが『ウルトラ兄弟物語』へと繋がる……。



かたおか徹治 略歴(以下ウィキペディアより抜粋・一部修正)

高校1年生の頃から、大阪在住だった山上たつひこ宅に自作原稿を持ち頻繁に通う。1971年、短期大学のデザイン美術専攻科第一部(現大阪芸術大学短期大学部)入学と同時に、山上たつひこが『旅立て！ひらりん』の連載を開始した時に師事。翌年春独立、『ミラーマン』でデビュー。短期大学は後に中退している。

1977年小池一夫が主宰した劇画村塾の第一期生として師事。

2010年より、専門学校日本デザイナー学院C(マンガ)科の非常勤講師を務めている。

2013年、『語れ！ウルトラマン 兄弟激闘編』(KKベストセラーズ・ベストムックシリーズ23)にて、ウルトラ関係で初めての取材を受け掲載される。